

スタジオシンフォニカ

「ソフトとハード」テーマに

畠中代表が復帰講演会を開催

現在、入院中のスタジオシンフォニカ代表の畠中秀幸氏は十月二十七日、自身が講師を務める北海道工業大学で「ソフトとハードの間で」と題した復帰講演会を行った。

同講演会は、同大学



空間創造学部建築学科が開催する「建築学科二〇一一年講演会と建築展」の一環として行われたもので、同氏は今年五月に脳卒中を発病し、現在は入院治療とリハビリを行っている。畠中氏は、集まった

学生や一般市民を前に、身振り

を交えながらは

つきりとした口

調で講演を行

い、自身が取り

組んでいる建築

と音楽について

「音楽はソフト

であり、時間芸術

です。建築は

ハードであり、

空間芸術です。

双方が憧れあっ

て、クロスオー

バーしているのです」と自身が取り組んでいる建築と音楽について独自の芸術感を披露し、「音楽と建築の関係を見出していきたい」と述べた。

また、自身の自宅として設計をした「途上の家」の写真やスクリーンに映し、自宅でコンサートや美術展、そ

ば職人を招いての食事

会を開催していること

を話した。

そして、札幌市都市

景観賞を受賞した六書

堂新社屋「ときの杜」

の事例では、エントラ

ンスを演奏会場として

活用できるように工夫

していることや通常業

務中でも市民が気軽に

立ち寄れる空間として

利用されていることな

どを紹介した。

講演の最後には、自

身のリハビリ生活にも

触れ、「体が不自由に

なっても前向きになれ

る。毅然とすることは

ど、無駄なことではない。

自信を持って生きてほ

しい」と力強い口調で

参加者に呼びかけた。

シーゲル

マンション用遮音対応

フローリングを新発売

無垢材フローリング

などを扱うシーゲルは

十一月十五日、新商品

「マンション用遮音対

応フローリング」の発

売を開始した。

同商品は、厚さが

一六㎜と従来製品より

も三〇㎜ほど薄型で、

ドアやカウンターを調